



1_サプライズで手紙を朗読する石川先生 2_ファンの皆さんからニホンジンへの応援メッセージがたくさん書かれた寄せ書き 3_白石なまりが素敵な佐久間先生 4_美しい歌声を披露するティナー・カリナさん 5_リュックサク今井さんによる華麗なギターソロ! 6_オープニングアクトのよさこい走乱白石城の皆さん 7_司会進行を務めたエフエム仙台の船越理香アナ(左)と作文を発表する佐藤くん(中央)、三宅さん(右) 8_心に響く重低音! ベースのペンション佐々木さん 9_豪華景品が当たる輪投げ 10_当日は世界初の「CD付き白石温麺」が販売ブースに並んだ



満員御礼!



この日の模様は8月14日の「白石よござりす」でOAされました!

「白石のニホンジン」

8月1日、白石市制施行60周年を記念して、「白石のニホンジン」をホワイトキューブで開催しました。本年4月に本市の観光大使に就任したニホンジンの皆さんによる初の凱旋アリーナライブ。特設ステージを設けたアリーナには900人以上が来場しました。よさこい走乱白石城の皆さんがオープニングアクトを務め、華麗な演舞を披露。会場を盛り上げました。スペシャルゲストとしてティナー・カリナさんが登場し、第54回日本レコード大賞新人賞受賞曲「あなた」など合計4曲を披露。美しい歌声で観客の心を強く震わせました。その後、市制施行60周年にちなんで企画された、「未来」をテーマにした作文発表では、これからの未来を担う二人の小・中学生がステージに登り、将来の夢を熱く語りました。この日一番の盛り上がりを見せたニホンジンの皆さんのライブでは、「教師」や「美容師」など合計12曲を熱唱。観客を興奮の渦に巻き込みました。イベントの終盤には「教師」の想いを担当した石川裕之先生がサプライズ登場! ニホンジンの皆さんへの手紙を朗読すると、会場からは大きな拍手が湧き起こりました。

恩師からのメッセージ

「ニホンジンのみなさま そして エムサイズ佐久間君へ」

東中学校主幹教諭 石川 裕之 さん

中学時代の佐久間君は、文武両道をモットーに勉強に部活にそして生徒会長として三年間全力で活躍しました。佐久間君は教師を目指していました。将来を担う子の教育に希望を持ち、第一歩を踏み出そうとする中、彼にはぬぐいきれない思いがあったようです。それがバンド活動。私ができる立場ではありませんが、ずいぶん悩んだのではないのでしょうか。サッカー部時代の仲間たちはそれはそれは強い集団でした。精神がです。「やらずに後悔するならば、やってみ極めろ」彼のサッカー部時代の親友の言葉です。そんな中で成長したからこそ、佐久間君自身も夢の実現に向かって突き進めたのだと思います。

私は、日本人として生まれてきたことに誇りを持っています。四季折々の風景があり、情景や人の感情などを表現する言葉は豊富で美しい。そのニホンジンバンド名にしている以上、聞く人たちに元気づけ勇気づけ、あるいは立ち止まらせ、さらには自分を振り返らせるようなそんなメッセージを書き続けてください。私にとって佐久間君はエムサイズ佐久間ではなくサイズフリーです。あらゆる人を理解し激励できるサイズフリーだ。どうか、これからも今井君、佐々木君がステージ上でその背中を見つめていてくれることに対し感謝し、ボーカルとして迫力と存在感と説得力を持ち大いに邁進してください。心より応援しています。



白石市制施行60周年を記念して将来の夢を発表



「僕の未来」

白石第二小学校6年 佐藤 拓耶 さん

僕は欲張りな人間で、なりたいものは数えきれないほどあります。その中でも、今の僕の夢は、歯医者になっているいろいろな人を分け隔て無く治療してあげることです。歯医者になるためには免許や技術が必要ですが、そのほかにも必要なものがあると思います。それは「思いやりの心」です。インドに行った日本人の歯医者さんが、思いやりの心で人々に明日を生きる勇気を与えたそうです。そういう歯医者には僕になりたいです。

「夢への第一歩」

白石中学校3年 三宅 萌那 さん

「東京ディズニーリゾートのキャストになります」去年の立派式で、白中のステージで私は夢を語りました。初めは憧れから始まったたわいもない夢でした。そんなある日、あの東日本大震災が日本を襲いました。その時キャストの皆さんがゲスト一人ひとりを守ろうとしている姿をテレビで見て大きく心を動かされました。そして今ではより強く「この場所で働きたい」とあらためて思っています。決して憧れだけで終わらせず、いつか必ずゴールテープを切ってみせます。

